

お休みの時間が長いために、自分と向き合う方が多いせいか、最近、人生相談を受ける事が多いんです。この集会のチャンネルにも来るし、他のチャンネルからも転送されて来るし。色んな人生相談が来ます。つい昨日、こんな相談がありました。「他人の目を気にしないようにするには、どうしたらいいですか？他人の目が気になって仕方がない。あの人にどう思われているか？この人の顔色は？挨拶したけど返事がなかった。何か思われてるんじゃないか？気遣いで疲れ果てて。聖書にその知恵がありますか？」

私はこう答えました。「他人の目を全然気にしない人は、人のアドバイスを全然受け入れない人。これは随分損する事が多いと思います。だけど同時に、気にしなくてもいい人の事まで気にしてしまうと、結局何もする事ができなくなるので、世の中の全ての人を気にかける必要はない。気にする人を厳選する事だと思うんです。気にする価値のある人は気にした方がいい。その人は、あなたが置かれている現状を親身になって考えてくれて、あなたを友として誠実に思ってくれている人。思慮深くて、あなたの祝福を心から願ってくれている人。その人のアドバイス・視線は重要な参考になるので、気にかけてもいいと思います。」

この世界で、誰よりも思慮深く・何よりも誠実で・あなたの祝福をどんなものよりも心の底から願っている方がおられる。それは聖書で語られている神です。人が作った神じゃない。人をお造りになった、あなたの第一原因者・あなたの作者・あなたの造り主がおられる。この造り主の言葉を正確に記録しているのがバイブル。だから、今日のテーマは「**バイブルによる解答**」です。

私は、人生相談には全員に返事を書いています。2,3例外はあります。余りにも無礼というか、滅多にないけど脅迫のような・嘲るようなやつは、お答えするまではないかなと無視！

それと、余りにもエキセントリックな方は、私では歯が立たないと思って。例えば、最近「私は神から言葉をあずかった。世の人々よ、主がこう仰せられる。聞け！」と長いのが来るけど、それは神が語ったんではないという内容で、それもパス！

なぜパスかという、神様の知恵は“幻の中で現れて何かベラベラ”って、そんなんじゃないって、バイブルの中に書いてあるんです。だから、バイブルを正確に学ぶ。緻密に学ぶ。

それが、神のアイデア・アドバイスを知る事になると思うんですね。

そこで今日は「アフター・コロナと個人的終末に備える」

バイブルをひと言で言うと、人に備えさせるための書物であると言えます。「人よ、あなたの神である主と会う備えをしなさい。人は一度、たった1人で、丸裸の心で神の前に立つ時が来る。その時に堂々と胸を張って、平安で立つ事ができるように備えなさい。」“**備える**”という事で今日2つ。

前半は国際情勢。“アフター・コロナ”。コロナ感染が収まった後、世界はどうなっているかを、今の内から考えて備えておくべきだという事。アフター・コロナになってから考えたのでは遅い。既に今、コロナの大混乱を活用・悪用して、中国が様々な手を打っている訳です。

それを知る事で、私たちは前もって準備しておく必要があると思います。国家として。

後半は“**個人的終末に備える**”。国際情勢と同時に、個人的な・切実な自分の終末に備える。

まず“アフター・コロナ”。つまり世界情勢。今日のデータを見ると、コロナウィルス感染者は世界で220万人。亡くなった方は22万人を突破。今や世界204か国/南極大陸以外全ての国で感染者が出ていると。唯一感染者ゼロの国があって、どこや?! 北朝鮮。誰も信じてません。しかし、建て前ではそうになっています。実質はそうでないと思います。

この蔓延は、一旦収まっても、秋に第2波が来るのではないか。ほな、いつまで続くん? やはり、特效薬とワクチンが完成するまでは、息長い戦いになるかもしれませんね。そうなると、健康問題だけではなく、世界経済が崩壊してしまう。

元はと言えば、中国が隠蔽したから。中共ウィルスと言ってもいいと思います。“しゅう いんぺい”という。あんまり言うとアレかもしれませんが、もう言っちゃった。

2/14まではWHOを使って「ヒト・ヒト感染はない」というデタラメ情報を垂れ流した。これが世界を大混乱に陥れている第一原因です。まさに中国共産党政府は、全世界に不幸を撒き散らす政府だと思っています。

ところで、もし日本発祥だったら、今の日本政府は、今の中国政府が取っているような態度を取ると思いますか? もし日本が隠蔽して、世界中に厄介な疫病を蔓延させ、22万人を超える方々の命が亡くなってしまったとなったら、まず、政府は国家を代表して謝ると思いますよ。

そして謝るだけじゃなく、賠償について真剣に討議すると思いますよ。

と同時に、その政府は倒れます。いかに支持率が高い政権としてスタートしたとしても、この大失敗やらかしたら、どんな政府も持たない。そうでなかったら、日本は一体どんな国なの?という話になって来る。だから、政府は倒れるはずですよ。

ところが、中国・習近平政権は全く悪びれない。大体ね、1回も謝ってないんですよ。中国政府、1度も謝罪してない。それどころか「我々中国が防波堤となって、世界に蔓延するのをくい止めた。英雄だ!」みたいな事を言っている。

この間、こんな四字熟語を教えてもらってビックリしました。中国語の「賊喊捉賊」(ぞくかん そくぞく)。日本語にも四字熟語ありますね。「捲土重来」(けんど ちょうらい)とか色々あります。

「賊喊捉賊」余り聞いた事ないと思います。「賊」は盗賊。「喊」はわめいたり・大声上げたり・叫ぶ事。盗賊が叫んでいる。何と叫んでいるか?「捉賊!」これは賊を拘束・捉える事。

悪い事をした盗賊が「盗賊を捕まえてくれ!」と叫びながら、まるで、自分が被害者か第3者かのように装いながら逃げて行く事。泥棒が「泥棒! 捕まえてくれ!」と言いながら逃げて行く事。

日本語にも「盗人猛々しい」というのがあるけど、ちょっとニュアンスが違う。

悪の張本人でありながら、被害者であるかのように・正義の味方であるかのように装って、自分の責任を一切自らに問わず・他者から問わせず、その場を切り抜けて行く事。今の中共政府の態度そのものです。どうして、こんなにふてぶてしいというか、攻めに転じる事ができるのか? 理由が3つあります。

①中共政府は「世界は、どんなにむごたらしい事でも、時間が経つとすぐに忘れる」と考えている。

中共政府は今までも、色んな事をやらかし続けてきたじゃないですか。大躍進も文革も。今、それが取り沙汰される事はないですよ。最近なら1989年6月4日、天安門事件がありました。人民解放軍が戦車で人民を踏み潰したんです。メチャクチャな事。

世界は一斉に、中国共産党に対して「何と酷い政権だ!」と経済制裁に走りました。

ところが西側世界で、いの一に仲裁を買って出た国があるんです。日本ですよ。西側諸国で最初に中国を訪問した首脳が海部俊樹（かいふ としき/1931-）首相。「中国の孤立化を回避しなければならない!」

中国が自民党の親中派に働きかけてやった事なんですが、1992年、江沢民（こう たくみん/1926-）が日本に招かれて来て、天皇・皇后陛下の宮中晩餐会に出席し、「今年、両陛下を中国にお招きしたい。」両陛下が行くか行かないかは、天皇自身が決めるのではなく、時の政府が決めます。

この時の政府は宮澤喜一（みやざわ きいち/1919-2007）。私が親しくしている外交評論家が宮澤喜一に呼ばれて、「大反対! 絶対やめろ!」と言ったけど、宮澤さんは天皇訪中を決めていたので、聞いてるフリをして全然変わらなかった。1992年10月に天皇訪中が決まるのですが、この時世界がどよめきました。

欧米はこう考えたんです。「もしかしたら日本は先駆けて、中国を自分だけで独占しようとしてるんじゃないか?」当時の中国の件費は日米欧の件費の数十分の一。そして、中国市場は大発展する事が確実視されていた。「その大きなパイを、日本だけで独占しようとしてるんじゃないか?」

欧米が人権と金儲けの板挟みになって揺れた時、日本は一足先にと頭越しにやったという事で、天皇訪中が、見事に日米欧の分裂を生んだんです。

この時の外務大臣は銭其琛（せん きしん/1928-2017）。引退後の回顧録に「西側の経済制裁を解く突破口は日本だ。天皇訪中で一気に崩れた。」自慢話みたいに書いてある。

それで終わっただけじゃない。1994年、江沢民は中国国内で愛国主義政策を取り始めます。ひとと言で言うと反日教育。6歳くらいから、日本がいかに悪い国かを徹底的に教える。国内では反日教育。海外には反日プロパガンダ。この時から、南京大虐殺のスローガンと言うかアピールするわけですよ。

1997年、中国系アメリカ人の女流作家アイリス・チャン（1968-2004）が『レイプオブ南京』という本を書きました。これが世界的ベストセラー。「30万人の南京市民を殺して、日本は何と酷い事をしたんだ!」彼女は本のPRのために全世界に行くけど、日本にだけ来なかった。来るつもりだったんですよ。

だけど、日本の専門家たちが、この本の致命的欠陥が90か所以上あると言って、全部指摘したんです。そして、本に掲載されている写真の9割以上が、全くデタラメな引用である事を、全部一次資料で突きつけた。それで、スゴスゴと引っ込んで。歴史書としては何の価値もない本ですよ。だけど、反日の本だと世界中に広まってしまったので、南京大虐殺が事実になってるんじゃないですか?

江沢民は、1997年『レイプオブ南京』が大ベストセラーになって行き渡ったのを見届けて、12月7日にハワイに行き、日本の中国侵略と真珠湾攻撃を大批判しました。

江沢民は天安門事件でピンチになっている時、日本に助けてもらった人ですよ。しかし助けられると、次に何をしたか? 日本を徹底的に悪魔化したのです。

これを見たら分かるように、国家の間に友情はないんです。あるのは国益だけです。特に、共産党一党独裁政治に於いては、真実とか真理はない。白も黒も権力者の意のまま。だから、コロナウィルス問題がどんなに酷い結果を及ぼそうが、中国は強弁で乗り切る事ができると確信しているし、どんなに酷い事があつたとしても、次々に新しい事件が起こるので世界は覚えてない。そう考えているので、攻めの一手で打って出ます。

②中国がまいた種で世界がひどい目に遭っている事は、中国が責任を感じるべき事ではなく、攻勢に出るチャンスと捉えている。

人民解放軍では、“孫子の兵法”を学習する事が義務付けられていると言われています。

その中に「整然たる旗頭を討ってはならない。堂々たる陣営を討ってはならない。」

言い換えると「敵がしっかりしている間は、攻撃したらあかん。」

では、いつ攻撃したらいいのか?「敵方の乱を待ち受け、ざわめきを待って討て。」

どんな敵でも必ず混乱する時・あたふたする時がある。その時弱みに付け込め。これが戦いのセオリーだ。

今、それですよ。だって、アメリカに今 11 隻の原子力空母があるけど、その内の 4 隻がコロナ感染で動けないんですよ。中国は一発のミサイルを撃つ事もなく、サイバー攻撃何一つ与える事なく、コロナウィルスという目に見えない感染力だけで、空母 4 隻動けない。

南シナ海・東シナ海。空母打撃軍が動けないので、中国は今やりたい放題。台湾包囲の夜間演習をやっていますね。そして、中国の公船がベトナムの漁船に体当たりして沈没させたでしょ。この間。それだけでなく、尖閣では、コロナ騒ぎが出て来てから、それ以前よりもスクランブルが 50%増えている。

「世界がこんなにグチャグチャになったのは、元はと言えば、我々が隠蔽したからだ。反省…」ではなく「チャンス!」。ここ、よく見ておくべきですね。

③中国は仕込んだ毒の手応えを感じているので、悪びれる事なく攻勢に出ている。

アメリカ・ウィスコンシン州の上院議員にロスという議員がいます。中国総領事館から彼に 1 通のメールが届きました。内容は「中国のウィルス感染に対する取り組みを称賛・絶賛する決議案を、ウィスコンシン州議会に提出するように働きかけてくれ。」

外国の政府が州議会に接近して、自分に都合の良い法案の可決を求めるなんて聞いた事がない。なので、悪戯だろうと思っていたら、シカゴの中国総領事からの本物のメールだという事が分かった。それでロス議員は返事を書きました。「親愛なる総領事殿。ふざけんなよ!」という一行。カーン!

中共ウィルスによるアメリカの死者は 5 万人突破。世界一の感染者数と世界一の死者数。中国のせいで苦しんでいる。そんな相手が「中国の対応は素晴らしい」という決議を求めたら、神経逆撫でで余計に怒るって、分からへんの?

なんで、そんな事をしたと思いますか? 応じる政治家がいるからです。中国のお金って、本当にたくさん入ってますよね。チャイナマネーで買収されている政治家が、日本にもアメリカにもヨーロッパにもいます。

元外交官の馬淵睦夫(まぶち むつお/1946-)さん。私は彼のディープステートの論理、余り好きじゃない。でも、すごく知性を感じさせられる。彼が言っています。

日本政府は今 73 か国からの入国拒否をしていて、もちろん中国から入る事はできない。しかし 4 月に入って、この 1 か月で 9000 人の外国人・海外からの渡航者が入っている。毎日一日平均 300 人。9000 人の内の 7 割は飛行機の国際便のクルーです。

残り 2700 人は次の 3 つの内のどれか。“配偶者が日本人”“外国籍で永住権がある人”“特異な事情の人”。“特異な事情の人”の中に、中国湖北省武漢からの渡航者が入っています。入れないはずやん。普通のルートなら入れません。

統一教会の創始者 文鮮明（ぶん せんめい/1920-2012）が、アメリカで脱税事件を起こして、1年以上懲役くらい、刑務所に入っていました。日本という国は、外国の刑務所に1年以上懲役で入った人は入国できません。ところが、1992年に入って来てますよ。なぜ入る事ができたのか？法務大臣が許可したら入れるんです。本当は入っちゃダメな人でも、特例を設けて入る事ができる。そのような抜け道で、特別なビジネスをしている中国の人たちが入って来ていると。

世界中が経済参って大変ですね。家賃が払えないので、都心の一等地のビルから店子がどんどん出て行って、空のビルになっている。オーナーは家賃収入がないので、売りに出しているのですが、それを現金で買って行ってるチャイナファンドがあります。

それから、日本企業は今青息吐息で苦しい。なので、皆考えているのはV字回復。一刻も早く経済を回してもらって、前の業績に戻したいという願望が強い。その中には、中国が喉から手が出るほど欲しい、国家安全保障に関わるようなハイテク製品を作っているメーカーもたくさんある事でしょう。そういうメーカーの株が今メチャクチャ安い。そんな企業の株式を、チャイナマネーのファンドが次々と買っているんです。どうなるかという、日本の国家安全保障に関わるような、虎の子の技術を持っている企業が、ふっと気がついたらチャイナ企業になっている。

今シャープさんがマスクを約3千円で。3千円！でもメイドインジャパンで3千円なので、いきなり全国でバカバカ出まして。箱を見たら台湾製。その台湾製のシール剥がしたら中国製。どこまでやんねん！みたいな事になっているけど、シャープは日本企業じゃないですよ。台湾企業ですよ。知らない間に、「この技術は流れて行ったらダメだろ」というような企業がどんどん侵食されている。

そこでトランプ大統領は、そういうものを買えないようにする法律だけではなく、そんな企業が倒れないようにするために、50兆円の資本をまず確保しています。ドイツは77兆円です。もしチャイナマネーが買収しようとしたら、「ドイツ政府が77兆円もプールしていて、国が守ったから、絶対中国に売ったらアカン」という手続きを既に取りっている。

コロナの問題というと健康問題。感染者がどうか。これはもちろん大事ですが、そこに目を取られている間に、中国は着実に入って来ている。だから今の内に、日本もそういうのを作っておかないと駄目です。そうでないと、あっと気がついたら、中国に首根っこをつかまえられているって、これは…。そんな日本に住みたいと思いますか？

自肅という事になった時、初め安倍政権は12,000円ずつって。12,000円で、高校生の小遣いかみたいな。それで皆がワーッと怒ったので、次に出て来たのが、お魚券とお肉券とメロン券とマグロ券ですよ。「族議員は、この期に及んで業界団体しか見てないんか！」とうわーっ言われたので、岸田政調会長が出て来て「一世帯20万円のところ30万円にします。」でも、よう読んでみたら、日本世帯の5軒に1軒しかもらえない事が分かって「何やってんだ!」。それで、遂に安倍首相が「一人10万円。」赤ちゃんも、永住権持っている外国人も10万円。これで24兆円の赤字国債です。

だけど、アメリカが一発目に出しているのは300兆円ですよ。日本でトンチンカン。遅い。みみっちい。でも、1ついい事があります。それは、国民が「なんやねん!」と言うたら、ちゃんと修正する事。中国で「なんやねん!」と言ったら首飛びます。行方不明になる。そんな国に住みたいですか？私は真っ平です。

危機が迫って来るというのが分かっているのだったら、それに対して備えるべきです。その備えについては、また次回、国際情勢の時に詳しくお話したいと思います。それがまず第1点。

2点目は“個人的終末に備える”

私たちが新型コロナウイルスを恐れるのは、8割は寝ていたら治るけど、5%の人が劇症化して亡くなる可能性があるという事。もし罹っても100%死なないという病気なら、別に怖くないんじゃない？例えば、しもやけ。ニキビ。「俺、ニキビ！ どうしよう?!」ってなる人いてない。死に直結しない病気なら深刻にならずに済むけど、死と結びついているから恐怖。コロナが引き金となって死ぬという事を恐れている訳です。

しかし、人はコロナに罹らなくても、別の病気で死ぬんじゃないですか？やがて、ワクチンと特效薬が出来たら、新型コロナウイルス肺炎は克服されるけど、死は残りますよね。人間には一度死ぬ事と、死後に裁きを受ける事が定まっている。人は一度死ぬというのが“個人的終末”なんです。個人的終末に備えるためにバイブルが与えられているのですね。

アメリカの大学でこんな実験が行われました。人々を集めて2つのグループに分けます。それぞれを別の部屋に呼んで、氷がぷかぷか浮いている氷水の水槽に手を入れてもらう。第1グループには、このテストは3分間であると教えておきます。第2グループには、時間は一切伝えない。部屋に時計はありません。腕時計は全部提出してもらいます。

実験の結果、第1グループは、3分間ずっと手を浸けたままでも平気であるだけでなく、「必要ならもっと浸けておく事出来ますよ。まだまだ出来ますよ」と余裕しゃくしゃく。ところが、第2グループは全員3分もたなかった。同じ水温・同じ水槽。何が違ったでしょう？ 終了時間が知らされているか・いなかったかという事です。

必ず終了時間がある。ここから解き放たれる。この苦痛は終わる。それを知っている人たちは我慢が出来ました。これは延々といつまでも続く事ではなく、3分経ったらおしまい。この苦痛には終わりがある、という希望を持っていた人たちは耐える事ができたのです。

しかし、終わりについて知らされていない人たちは希望がなかった。「いつまで続くねん？ もしかしたら延々と2時間くらい抜ける事ができないかも?!」希望のない苦痛は、実際の苦痛を何倍も酷く、大きなものと感じさせるのです。

聖書には死の問題に解決があり希望がある。答えは出ている。死という氷水に一旦浸かると、得体の知れない所に呑み込まれて、どうなってしまうのか分からないというのではなく、「死の問題は、神がイエス・キリストに於いて完全に決着をつけて下さった」という事を伝えているニュースが聖書の福音です。

I ペテロ 3:18 キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。

正しい方が正しくない者たちのために身代わりになられたのです。

それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。

イエス・キリストがこの世界に来られた目的がここに書いてあります。有り体に言うと、あなたがたを神に導くために来たのです。

神とは何回も言っているように、人が作った宗教の神々ではなく人間を造った方。あなたの作者。あなたの造り主。それを聖書は創造主とか神と語ります。

人間を造った方は、作品である人間が壊れた時には修理する事ができるのです。聖書は「全ての人間は作者による修理を必要としている。ある意味不完全で、神が本来意図した理想的な状態ではなく、壊れた状態・罪の性質を持って生まれて来た」と言っています。

昔、ぐでんぐでんに酔っ払っている人にインタビューする番組がありましたが、酔っ払いが1番口にするセリフは「俺、全然酔ってないから。」酔っている人ほど「酔ってない」と言う。酔っている事も自覚できないほどアルコールに支配されているから。これが酔っ払っている症状だと。

これを罪に適応すると、罪人であればあるほど自分の罪を認める事ができない。罪人である自覚すら持つ事ができない。これが罪に酔っ払った状態。それが人間の姿だ。

聖書が言う罪は、もちろん物を盗るのも罪。嘘をつくのも罪。姦淫も罪。色々あるけど、根本的な罪は創造主/神との関係を断ち切って、神なんかいないという人生観で生きる事です。

生け花はしばらくは青々と咲いているけど1週間・10日経つと枯れて行く。なぜ枯れるのですか？根から切れているからです。

人間のいのちのルーツ/根っこは神です。その神との関係を切っているのです、しばらくの間80年・90年・100年くらいは生きていますが、永遠に生きる事はできない。この死の原因は、いのちの源である神から切れているからだと言っています。もっと言うと、創造主への反逆が死をもたらした。しかし、罪ゆえに死を迎えなければならない人間のために、神はイエス・キリストを死から解き放つ救い主として送って下さいました。

これが放送されるのは5月。私の誕生日です。誕生日はある時から余り楽しくない。子供の時はあんなに楽しかったのに「もう、こんな歳か」と。私も大台に乗ります！大台？何歳？企業秘密。何でもいいけど。「俺もこんな歳か」とつらつら考えていたら、若い時と今では、考え方に違いが生じている事に気がつきました。

若い時“すごい人”と言う場合、どういう事にすごさを感じたか？私は能力のある人です。私の学生時代、周りに優れた人たちがたくさんいました。自分がどう頑張っても追いつけない。“目から鼻へ抜ける”というか“一を聞いて十を悟る”というか、分析についても語学にもとにかく賢い。できる。同世代なのに一目置かざるを得ない。そういう人にすごさを感じた。そして、できる優秀な賢い大人に憧れを感じました。「すごい！あんな人になりたい！」

だけど、この歳になって考えが変わりました。“すごい・賢い”って、上には上がいてるよ。「こんな賢い人、他にはおれへん」って、なんぼでもおる。私が今“すごさ”を感じるのは、相手がどうであれ、変わらず接する事ができる人。常に穏やかな人。これは、持って生まれた才能とか勉強によるものではない。人格に由来するものですよ。

相手の感情の起伏にそんなにも左右されず、円満・平安で居続ける事ができる。そして、こちらがベストな時だけでなく、ダメダメな時でも真実の友情を尽くして何も変わらない。

こんなに迷惑を掛けているのに、何にも変わらない。こんなに情けない自分を見せているのに、何も失望せず駆け寄って来て「大丈夫か?」って。私はそういう事の方に、すごさをより感じるようになりました。言い換えると、愛の本質に近い人にすごさを感じるのです。人間、結局愛とちやいます? 愛の本質に近い人に、賢さというすごさよりも、神々しさ・厳かさを感じる。そんな人になりたいと思うのです。

そんな人はいるのか? 不完全な人はいますよ。でも、完全な愛の人はイエス・キリストだけです。キリストは「キリストなんか、創造主なんか要らない! 俺は俺の道を行く!」と神に反逆している人間のために、この世界に来て下さった人となられた神。“キリスト”は救い主という意味。あなたを罪と死から救うために来られた神からの救世主がイエス・キリストです。

私もこの2か月、全講演がキャンセルになったので読書三昧。ええわ。ホンマに。買っておいて全然読んでない本が山積み。本は“今”という時に買わないと、後で行っても売ってない事がよくあるんです。『生きる勇気と聖書の力』も今! クリックして買って下さいよ。どんどん増えていたけど、買っという良かった。というのは、大型書店・図書館が皆休み。家にはたんとある。それで読書三昧ですが、ちょっとやり過ぎて腰痛。だから、立ったり座ったり寝転んだりして読んでます。

先日『僕は人生を巻き戻す』(テリー・マーフィー著)という本を読みました。ああ、すごい本でした。うまく説明できるかどうか分かりませんが。

エド・ザイン。アメリカ人の青年で強迫性障害という病気です。昔は強迫神経症と言いました。自分の中で不愉快な連想が出て来た時、それを振り払うために、全然合理的でない事をずっとやり続けて止める事ができない。

例えば、不潔に対する恐怖心を持っている人は、1日12時間でも手を洗っている。ある人は漂白剤で。そしたら手はどうなりますか? ボロボロですよ。痛くないんですか? メチャクチャ痛い。止めたいんです。でも、止める事ができないんです。

捨てる事に恐怖心を持っている人は、何一つ捨てる事ができないのでゴミ屋敷になるのです。私の部屋がゴミ屋敷になるのとはちょっと違う。私の場合はちゃんと片付けないから。捨てる事は何とも思わないけど、整理整頓が下手くそだから。

鍵をかけたかどうかの確認を何百回もしないと出れない。人を轢いてしまうのではないかという恐怖心を持っている人は、免許を持ってても運転できない。色々あります。

エド・ザインは強迫性障害の中でも最も重症でした。11歳の時ショックを受けるのです。彼はお母さんに溺愛されて育った子。お父さんは海兵隊の元軍人。おじいさんは元バンタム級のプロボクサー。お母さんはものすごく優しい。優しい。お父さんは軍隊式で、愛情を伝えるのが上手くない。お母さんが癌になりました。お父さんは不器用で、追い詰められているのをどうしていいかわからない。

お母さんは家のホールに寝かされていて、夜になっても食事を作ってくれる人が誰もいません。それで、エドは冷蔵庫からジャムを取り出し、パンに塗りつけて、紛らわせるためにゲームをして、そのまま部屋に入りました。

お父さんはジャムのふたが開きっ放しという事で非常に怒って、今までも怒ったら物を投げたりされたけど（その時は、妻が亡くなるという事をどうしたらいいか、よく分からなかったのでしょう）、物すごい剣幕で11歳のエドを殴り続けたのです。殴っている理由を言わずに。口答えしたらもっと殴られると思って、ただ我慢して。ようやく暴力が終わったけど、ズキズキして痛みあまり休む事ができない。

深夜、お母さんの呻く声。荒い呼吸。「部屋に入っとけ!」と言われたけど、こっそり抜け出てお母さんを見に行ったら断末魔。誰もいない。最後、肺からプシューっという音がして、息が抜けて、呻きと苦しみと、人が死ぬという決定的瞬間を見てしまうのです。

彼にとって、死は余りにも辛く・怖く・しんどく・痛い。人間が絶対に抵抗できない恐ろしいもの。でも、見たという事をお父さんに知られたら、また殴られると思って、自分の感情に全部ふたをしたまま部屋に戻ります。それが引き金になって、5・6年後に強迫性障害が始まりました。

彼の場合は、自分が何かをした時、それを逆向きにするという強迫性障害です。時間は前に向かって進む。その先にあるのは死である。死を避けるためには、進んだ時間を巻き戻せば良い。自分がそれをしなければ、家族に不幸が襲いかかって死んでしまうから、あらゆる事を行ったら、それと逆の事をする事によって時間を止める事ができる。その強迫観念にとらわれてしまうのです。

例えば、彼は地下室に住んでいるのですが、1階に行く時階段を上りますね。その階段のタイルの、どのマス目を踏んだか正確に覚えています。そして下りる時、後ろ向きに正確に下りて、違うタイルを少しでも踏んでしまったら、偶数回それを繰り返す事によって帳消しにする事ができる。なので、階段を行って戻るのに6時間かかる。

何か喋った時、例えば「俺はどうして、こうなってしまったんだ」と喋った時、その時間を巻き戻すために言った言葉を逆に言う。「新聞紙」は下から言っても「しんぶんし」「トマト」も「とまと」。回文だから。だけど、「キリストも一度、罪のために苦しみを受け」を「けうをみしるくにめたのみつ、どちいもとすりき」。これをスラスラっと言うんですよ。そうする事によって、発言する前の時間に戻れた。だから、家族は死ななくても良くなった。

学校から下校する時も後ろ向きに帰る。歩いていて、片足上げている時にトラックが通ってしまった。そしたら、トラックが通っている時に、後ろ向きに歩かないとダメなんです。次のトラックが来るまで1時間半、ずっと片足上げて、足以外もそのままの状態です。

トイレに行っても汚物を流せません。流したら元に戻れないから。それで、地下室には尿で満タンになった瓶が何十本も。大便是ジッパー袋に入れて山のように積んである。もう読んで、ほんまに気持ち悪かったですね。

苦しくて苦しくて仕方がない。そんな時、マイケル・ジェナイクという強迫性障害の世界的権威・ハーバード大学精神科ドクターがテレビに出演して、強迫性障害の事例を紹介していた。それをエド・ザインの家族が見て、「待てよ。あの子、風変わりやと思ってたけど、実はそうじゃなくて病気だったんだ。この先生やったら、治してもらえるかもしれない。」電話して。彼が今まで診た患者の中で一番ひどかったそうです。「これから、エドの治療に取り組みます。」片道3時間。往復6時間。無償ですよ。

このドクターはベトナム戦争でパイロットでした。自分だけ生き残った事が、ものすごいトラウマになっているのですが、その自分の心の傷とそっくりのものをエドの中に見つけたんです。

「私は彼が立ち直るために、20年間培ってきた研究成果の全てを注ぎます。」

薬物と認知行動療法の2つを使って、気長にやって行きます。少しずつ少しずつ回復して、遂に後ろ向きではあるけれど、数年間浴びた事がなかったシャワーを浴びるんです。

認知行動療法というのは、その人が抵抗している嫌な事をわざとさせて、それを打ち消すために逆戻りするという事をさせない。そして「それをしなくても、悪い事は何も起こらなかったでしょ」というように、歪んだ認知を経験によって修正して行くのですが、この病気の人にはめっちゃくちゃ苦痛なんですよ。でも、少しずつ良くなって。

認知行動療法を直接指導するのは、ドクターが信頼している女性の心理療法士なのですが、ちょっと急ぎ過ぎたか…。ひよんな事からバーンと元に戻ってしまうんです。元に戻るだけなら良かったけど、最初と比べものにならないくらい悪化してしまいました。

2年間、やれる事は全部やった。いい薬は全部使った。認知行動療法も全部やった。新たに発表された色々なセラピーも全部施してみた。自分の経験の全てをつぎ込んだ。だけど、自分が関わる前よりももっと悪くなってしまった。

マイケル・ジェナイク医師は患者エドの前で号泣します。「私は負けた。無理だ…。」

この日を境に治療打ち切り。遂に癒されず、前よりもっと酷くなった状態。

敗北感に苛まれながらドクターが帰って行くけど、よう帰らない。途中で路肩に止めて何時間も泣く。

エドは、「力になれなくてごめんな…」と言うドクターを見た時、自分の中で何かが変わるんですね。

非常に腹が立った。強迫性障害という病気に怒りを覚えたんです。「この病気は僕の人生を、希望を奪って行った。人生を台無しにした。だけど、僕が大好きな、兄みたいに思っているドクターマイケルを、こんなにも悲しませて、木っ端みじんにして。この病気は何てヤツだ!」

元々お父さんは軍人、おじいさんはバンタム級プロボクサー。その血が湧いて闘争心。

「俺はこの強迫性障害をぶっ倒してやる!」。やらされていた時は、あんなに「無理!」と言っていた認知行動療法を、プロの心理療法士の手を借りずに、自分で自分に施して回復して行くんです。

快癒ではない。この病気は完治はしません。でも、彼は見違えるほどになり、ドクターに「会いに来てくれませんか?」「いいよ。君と僕は医師と患者じゃなくて友達だからね。」

数年ぶりに会ったけど、ドクターマイケルはエドに気がつかない。「僕です。」「ええ!ほんとか?!」

エドは結婚して娘を持ち、今は、ドクターマイケルが主催する強迫性障害の講演会のメインスピーカーとして活動しています。

なぜ治ったか聞かれると、ドクターは「私の治療法じゃないんです。私はダメだと言って去ったんです。」

だけど、自分が大好きな人・自分を心から愛してくれる人が、自分の病気のせいで、ここまで踏みつけになって、悶え苦しんでいるのを見た時、この病気の状態・罪の状態から離れたたい。解放されたい。

「癒せるものなら癒してみろよ」という生き方ではなく、心の底から「それから離れて・解放されて・良くなりたたい。」エドの心に正気を吹き込んだのは、彼を愛してやまない人の苦しむ姿でした。

聖書に「彼の(その)打ち傷によって、私たちは癒された」(イザヤ 53:5)という言葉あります。キリストは私たちのために、十字架にかかって傷を受けて下さったのです。

I ペテロ 3:18 キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。
正しい方が正しくない者たちのために身代わりになられたのです。
それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。

キリストも一度、罪のために苦しみを受けられました。この罪はキリストの罪ではありません。

なぜなら、こう書いてあるからです。正しい方が正しくない者たちのために身代わりになられたのです。正しい方はイエス・キリストです。正しくない者たちは複数形、全人類です。キリストは正しくない者たちの罪の苦しみを、身代わりになって受けて下さいました。それがイエス・キリストの十字架の意味です。キリストが十字架にかかって死んで下さったのは、あなたあの罪・その罪・この罪、全ての罪のために、十字架上で悶え苦しんで下さったのです。

それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、あなたがたを神に導くためでした。キリストは肉体に於いて死んで下さただけでなく、神の霊/聖霊によって3日目に復活された。キリストのこの十字架と復活のみわざによって、神から離れていた人たち/あなたがたを神に導くためでした。

地上の生涯には本当に色々な事があります。でも、私たちが死んだ後、神の元に帰るまで、日々共に歩んで導いて行かれる方がイエス・キリストなのです。

ところで、誰と一緒にいるかによって、違う自分になって行く事を経験しませんか？ある人と一緒にいると不機嫌な自分になる。ある人と一緒にいると、普段やらないようなヤンチャな事をしてしまう。ある人と一緒にいると、感化されて何か崇高な考えになってしまう。どれも同じ自分だけど、誰と一緒に過ごすのかによってコロコロ変わる。

その中で、誰と一緒にいる自分が一番好きですか？私は本来的にはめちゃくちゃな者ですが、私のために、こんなにもすごい愛で愛して下さった方が夢を託して、「さあ！地上生涯、悔いのないように、思いっきり、わたしと歩む人生を突っ走ろう！」と言って下さって、「はい！」と答えている時の自分、イエス・キリストと繋がっている事を思い返している自分が、一番まとものような気がします。

キリストはあなたを縛る方ではなく、本来のあなたに開放して下さい。神が意図した、キリストに在る自分に引き上げて下さいます。

この方を信じる者は、たとえ死んでも、既に罪の赦しを受けているので、死後に裁きを受ける事なく天国に行くのです。これが個人的終末に対する備えとなります。

国際情勢に於いて、これから厄介な事が始まると分かるなら手を打つ。これは当たり前の事です。それと同じように、個人の人生に於いても、最後に待っているのが死で、その死に対して解決があるならそれを受け取ろうではないか。これは非常に合理的な良い考えだと思います。

神は、あなたがその良いプレゼントを受け取るようにと勧めておられます。

是非イエス・キリストを信じて、永遠のいのちをお持ちになって下さい。

そして、またこの場所で「キリストを信じたよ!」と分かち合う事が出来たら、どんなに素晴らしいかと考えています。

どうぞ、皆様の上に神様の祝福がありますように。

ご清聴ありがとうございました。



* 動画は YouTube で「[HCA 東住吉キリスト集会](#)」検索。ぜひ見て下さい。

* ラジオ番組「[聖書と福音](#)」(15分)も是非どうぞ。YouTube もあります。

動画筆記 : Rumi